

林純薬工業はサステナビリティ方針を策定し、今年度（2022年1月開始）から同方針にのっとって経営、事業活動を実践している。スローガンは「想像力で世界の課題に挑戦しよう」。すべての従業員が働きがいを感じ、さらなる成長を追求することで会社も成長し、その結果、顧客、社会の課題解決につながり、社員が達成感や幸福感を得られるという好循環を生み出していく。

24年に創業120年目を迎え、その先も発展し続けていくためには共通の目標が不可欠と判断。議論を重ねながらサステナビリティ方針を練り上げた。重点テーマは「産業」「社会」「地球環境」の3つで、それぞれで力を注ぐ重要課題を合計12項目定めた。

持続的成長を遂げるためには、従業員の活躍が欠かせない。重点テーマの1つに「チームと人の成長」社会を創造しよう」を掲げ、さまざまな施策を講じていく。注力する1つがダイバーシティに関する活動で、女性従業員がより生き生き

サステナビリティ方針策定

働きがいある環境で成長を

と働けるよう環境を整える。従業員259人のうち女性は約70人。現在、女性管理職比率は15%で、まずは20%以上に引き上げる。研修制度を用意するなどし、キャリアアップや管理職を目指したいという意識を醸成していく。

DX（デジタルトランスフォーメーション）を導入し、多様な働き方の実現にも挑む。製造など特定の場所に従事しなければならぬ部門を除き、在宅勤務を可能とすることで生産性向上が期待できるうえ、BCP（事業継続計画）にもつながる。

SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、ものづくりの面からも貢献する。産官学民連携も推進しながら電子材料や試薬に関する技術を磨き、ニーズに応えていく。また、生産活動においては省エネルギーを図り、化学薬品の廃棄量を削減するなどして環境負荷低減に努める。